

# 果樹病虫害発生状況（5月）

令和元年5月31日  
福島県病虫害防除所

## 1 リンゴ

### (1) 斑点落葉病

新梢葉での発生は、中通り、会津ともに確認されませんでした。

### (2) 腐らん病

発生ほ場割合は、中通り、会津ともに平年並でした（図1）。

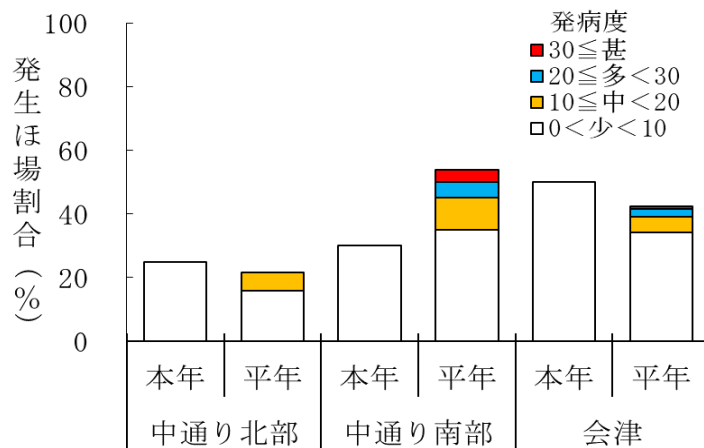


図1 リンゴ腐らん病の発生状況

## 2 モモ

### (1) 灰星病

花腐れの発生は、5月上旬の調査では福島地域、伊達地域ともに確認されませんでした。

### (2) せん孔細菌病

春型枝病斑の発生ほ場割合（5月上旬・下旬）は、福島地域、伊達地域ともに平年より高い状況でした（図2、図3）。また、新梢葉での発生ほ場割合も、福島地域、伊達地域ともに平年より高い状況でした（図4）。

今後梅雨期を迎え、被害が拡大するおそれがあるため、春型枝病斑、発病葉・発病果実は徹底して除去するとともに、例年果実被害が多いほ場では仕上げ摘果後速やかに袋かけを実施しましょう。また、薬剤散布は降雨前の実施を心掛けましょう（防除情報参照）。

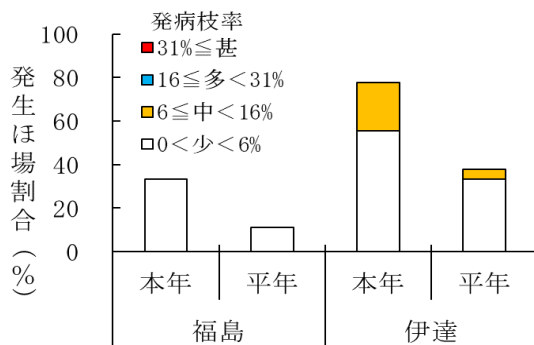


図2 5月上旬のモモせん孔細菌病春型枝病斑の発生状況

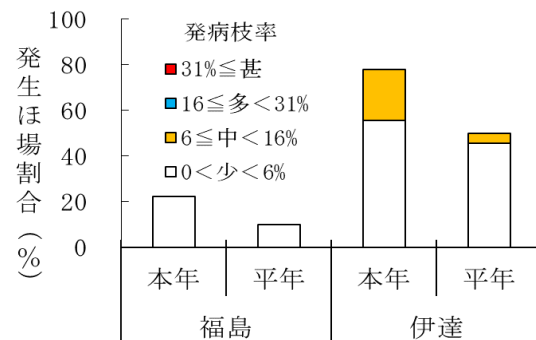


図3 5月下旬のモモせん孔細菌病春型枝病斑の発生状況

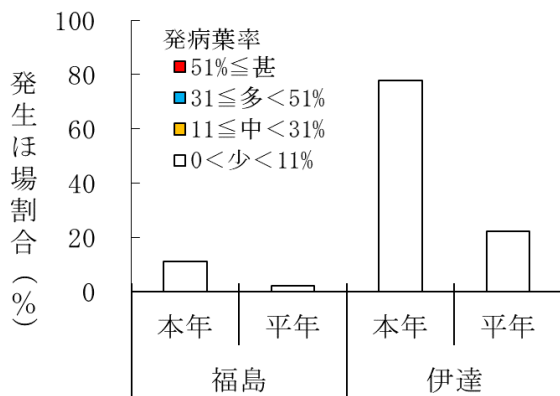


図4 5月下旬のモモせん孔細菌病の新梢葉における発生状況

### (3) モモハモグリガ

新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域で平年より高く、伊達地域では平年並でした(図5)。6月2半旬頃に防除を行い、次世代の密度低下を図ってください。

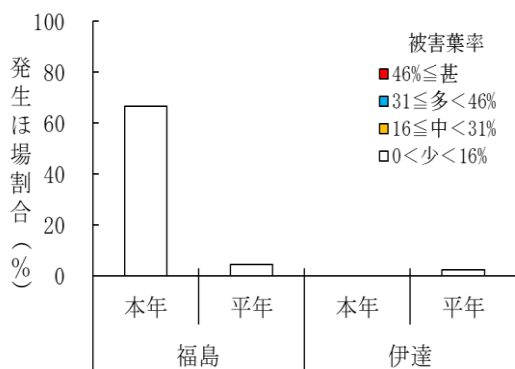


図5 モモハモグリガの発生状況

## 3 ナシ

### (1) 黒星病

5月上旬の調査では、果そう基部での発生ほ場割合は中通り北部では平年並、中通り南部では平年よりやや低く、浜通りでは平年より低い状況でした(図6)。5月下旬の調査では、中通りで平年並であり、浜通りでは平年より低い状況でした(図7)。新梢葉での発生は、中通り、浜通りとも確認されませんでした。

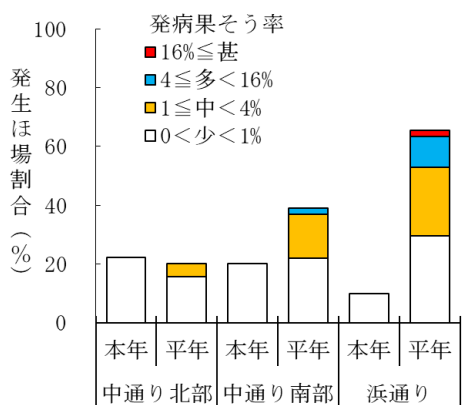


図6 5月上旬のナシ黒星病の果そう基部での発生状況

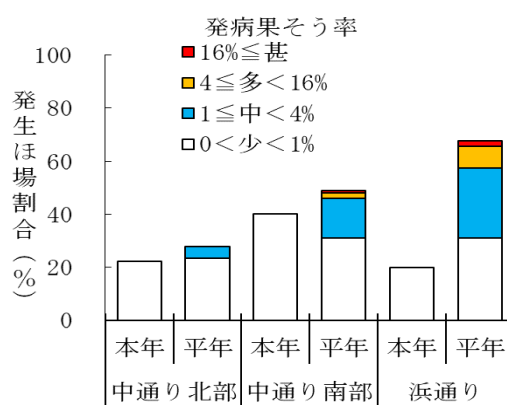


図7 5月下旬のナシ黒星病の果そう基部での発生状況

## 4 果樹共通

### (1) アブラムシ類

リンゴでは、寄生ほ場割合が中通り北部で平年より高く、中通り南部、会津では平年並の発生状況でした（図8）。

ナシでは、寄生ほ場割合が中通り北部で平年より高く、中通り南部、会津では平年並の発生状況でした（図9）。

モモでは、寄生が確認されませんでした。

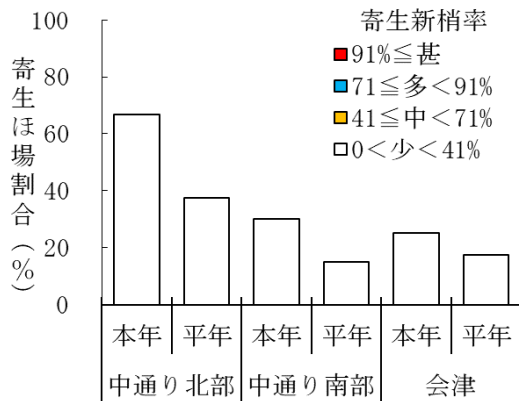


図8 アブラムシ類の新梢寄生状況（リンゴ）

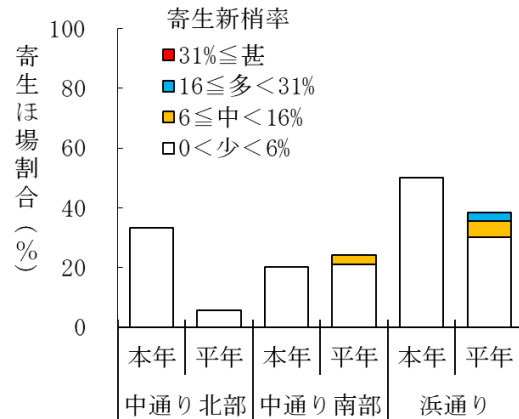


図9 アブラムシ類の新梢寄生状況（ナシ）

### (2) カメムシ類

リンゴ、モモ、ナシの樹への飛来は、確認されませんでした。

クサギカメムシの指標植物（サクラ）への飛来は、いわき市で確認されました。チャバネアオカメムシの指標植物（サクラ）への飛来は、白河市で確認されました。

### (3) ハダニ類

リンゴでは、会津でリンゴハダニの寄生が確認され、寄生ほ場割合は平年並でした（図10）。

ナシでは、浜通りでクワオオハダニの寄生が確認され、発生ほ場割合は平年並でした（図11）。

モモでの寄生は確認されませんでした。

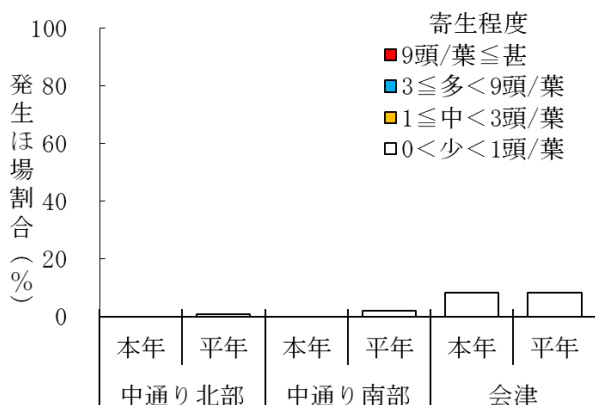


図10 ハダニ類の新梢葉寄生状況（リンゴ）

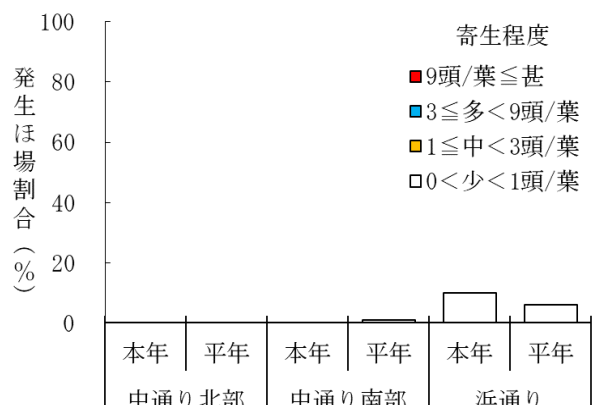


図11 ハダニ類の新梢葉寄生状況（ナシ）